

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

グローバルな会社を目指し、最新のテクノロジーを持ち続け、社員の夢を実現する。技術情報統合マネジメント企業を目指す。

営業利益率
10%

② 中長期の経営戦略

1. 持続性のあるグループ経営推進

既存事業の継続的発展および経営体質強化と並行して、バランスの取れた企業構造を形成

3. FAロボット事業の営業推進

制御技術、FA・ロボット活用の生産設備設計・製作、教育用装置販売の営業活動推進

2. 技術情報事業の領域拡充

ドキュメント・ソリューション、多言語翻訳、ソフトウェアローカライゼーション事業の拡充

4. デジタルソリューション領域拡充

基幹情報システム構築・運用支援、MBD・PLMソリューション提供の領域拡充

③ 対処すべき課題

① 中期経営戦略の遂行

- ・ 既存事業継続発展と経営体質強化の並行推進
- ・ 技術情報・FAロボット・デジタルソリューション各事業の領域拡充推進

② 人材確保・育成

- ・ 新卒・経験者採用による安定的な人材確保
- ・ 教育・研修・資格取得支援でスキルアップ
- ・ 中核人材の計画的育成推進

③ 経営環境への対応

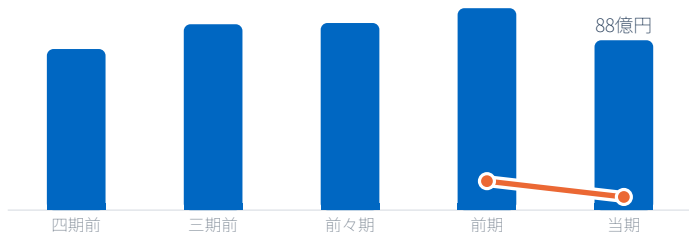
- ・ DX、脱炭素、生成AI普及への対応で中長期需要拡大を取込む
- ・ 資源価格高騰・為替変動などの先行き不透明さへの対応

面接で使えるポイント

- ・ 技術情報・FAロボット・デジタルソリューション3事業でグループシナジーを創出し…
- ・ 営業利益率10%を継続確保しながら、DX・脱炭素・生成AI普及への対応で中長期成長を実現
- ・ 新卒・経験者採用と教育・研修、資格取得支援で人材育成し、世界に通用する技術力と人材を確保

証券コード 2169

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
愛知県岡崎市に本社を置く情報通信・サービス企業
であり、連結売上88億円

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・財務健康度72点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
88億円営業利益率
7.8%財務健康度
72点／100点

将来性 雨／就活偏差値 39.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
512万円

サービス業内 380位/524社

平均年齢
37.9歳

サービス業内 284位/527社

平均勤続
13.6年

サービス業内 58位/527社

女性管理職
2.9%

サービス業内 353位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 17位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

